

同じ4～7月でも、1年が経過すると、社会の情勢がずいぶんと変わることを痛感します。殺人事件の闇バイトの受け子として、高校生が関与していたなどという、非常にショッキングな出来事が報道されたのも今学期のことでした。社会の動きや青少年をとりまく状況がどんなに変わろうとも、1,359名という県内最大規模を誇る本校の学びの場から、将来を担う健全な若者が多数教育成されていくことを、あらためて望んでおります。

2026 イベントカレンダー

4月	April
7日火	入学式
8日水	1学期始業式・対面式・着任式
9日木～14日火	オリエンテーション・春季特別指導
15日水～16日木	基礎学力到達度テスト
17日金	遠足(1年)
22日水	シェイクアウト訓練
24日金	スマホ安全教室
25日土	学級保護者会
27日月～28日火	校歌・応援歌練習
30日木	生徒総会

6月	June
1日月	高校生のための文化講演会
1日月～20日土	教育実習
9日火	校内球技大会
11日木	第一回校内献血
20日土	第1回数検
27日土	第1回漢検・教育講演会
30日火	1学期期末試験

5月	May
11日月	自転車安全教室
12日火～13日水	保護者参観授業
23日土	第1回英検
25日月～28日木	1学期中間試験

7月	July
1日水～3日金	1学期期末試験
11日土～12日日	アカシヤ祭
14日火	思いやりキャンペーン
18日土	1学期終業式

青空だより

凱風快晴

相談室「青空」カウンセラー 伊藤 充



郡山市立美術館で開催された『北斎・広重大浮世絵展』を観ました。ご覧になった方も多いのではないのでしょうか。葛飾北斎と歌川広重の天才的で圧倒的な画力に、これはゴッホも大きなインパクトを受けたに違いないと思えてきて、大満足の展覧会でした。

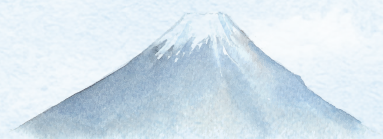
ところで、この展覧会で私の大きな勘違いが発覚しました。皆さんは“赤富士”とも呼ばれて有名な、葛飾北斎の描いた『富嶽三十六景』シリーズのなかの一枚をご存じですか。ああ、あの赤い富士山の絵ね、と思い浮かぶ方が多いのでは。実は私はこの赤富士、赤い富士山なんだから夕方の富士山とすっかり思い込んでいたのです。しかし解説をよく読んでみると、まずこの絵のタイトルはなんと爽やかな『凱風快晴』といい、凱風とは南風のことであり、この赤富士は晩夏から初秋にかけての早朝に、甲斐国（現在の山梨県）側から見た裏富士が、朝日を浴びて真っ赤に見える現象だと知りました。つまり夕日ではな

く朝日を浴びている富士山だったのです。

だから何なの？という話ではありますが、皆さんもこんなふうにすっかり思い込んでしまっていることって案外ありませんか。改めて丁寧に見てみる、改めて最初に戻って考えてみる、自分で実際に体験して感じてみるのが、AIがここまで日常に馴染んでしまった今だからこそ大切で、自分の五感まで人任せにしたくないなあと思います。AIには“経験”ができません。ある大学の先生が「AIには心臓がない。そのため“腑に落ちる”とか“胸騒ぎがする”という感覚が人間の価値になる」と説明しているのを新聞で読みました。

自分の気持ちは毎日いつも“凱風快晴”と爽やかにとはいきませんが、思い込んだり、決めつけたりせずに、自分の五感をフル活動させて過ごせる毎日だといいなと思います。

ご心配なことがありましたら、いつでもどうぞお気軽にご相談ください。お待ちしております。



●生徒支援室 TEL.024(956)8852

●分室「青空」（保健室内…カウンセラー常駐）TEL.024(956)8850

日本大学付属高等学校特待生・日本大学東北高等学校奨学生 日本大学東北高等学校桜薔会奨学生（体育）

（ ）は出身中

日本大学付属高等学校特待生			
3 学年	三本杉勇杜(安 積)	目黒 瑞季(郡山二)	
2 学年	鈴木 眞寧(須賀川一)	薄井柚佳子(駒ザペリオ)	

日本大学東北高等学校奨学生									
第一種	3 学年	厚海	健(郡山三)	小沼	駿斗(大 玉)	大内	姫香(守 山)		
		渡邊	碧音(郡山三)	久能	蒼葉(大 玉)	柳沼	悠人(郡山二)		
		片岡	幸大(守 山)	富塚	遼也(船 引)	西牧	いちか(郡山一)		
		荒井	彩愛(表 郷)	武井	羽奏(日和田)	村田	亘亮(日和田)		
		竹井	慈乃(五 箇)	根本	佳乃(船 引)	小河原	啓太(長 沼)		
		田中	里奈(郡山三)	國分	柚輝(郡山五)	鈴木	花菜(郡山五)		
	2 学年	角田	翔(石 川)	濱津	美貴(高 瀬)	井関	美伶(郡山五)		
		佐藤	希音(緑ヶ丘)	二瓶	采華(安 積)	小澤	芽生(船 引)		
		安田	明翔(須賀川二)	中本	陽菜里(本 通)	三浦	未来翔(常 葉)		
		吾妻	佑彩(猪苗代)	佐藤	琴乃(玉 川)	山本	康太(安積二)		
		伊藤	優(行 健)	草野	瑠花(郡山四)	佐藤	海碧(郡山七)		
		高橋	稜汰(郡山三)	箭内	佑希子(須賀川二)	渡邊	煌華(常 葉)		
	1 学年	石井	茉優(小 野)	菊地	結月(本宮一)	中嶋	尋(会津一)		
		吉田	太陽(西田学園)	藤田	有莉咲(塙)	松岡	大生(郡山一)		
		小林	亨熙(安 積)	渡邊	優飛(行 健)	野川	穰仁(須賀川三)		
		堀	一翔(下 郷)	品川	祐大(鏡 石)	大森	仁(塙)		
		川野	咲心(郡山二)	厚井	愛羽(郡山七)	関根	彩乃(須賀川二)		
		村田	皓(西郷二)	海老名	裕生(日和田)	近内	あや乃(石 川)		
酒井		優成(小原田)	田家	綾乃(白河中央)	山下	和真(鏡 石)			
3 学年		松浦	璃久(郡山一)						
	2 学年	小磯	大夢(猪苗代)	佐藤	真帆(福島三)				

日本大学東北高等学校桜薔会奨学生（体育）			
陸上競技部 (6名)	3 学年	小林 夢(本宮二)	
	2 学年	服部 奈夢(福島三)	
	1 学年	菫蒲 心陽(西 袋)	
バスケット ボール部 (7名)	3 学年	石川 倅羽(白河中央)	
	2 学年	板井 諒(清 水)	
	1 学年	塩野谷輝樹(勿来一)	
水泳部 (4名)	3 学年	遠藤 飛和(坂 下)	
	2 学年	吉坂 健太(いわき玉川)	
	1 学年	小関 瑛大(中央台南)	
野球部 (5名)	3 学年	橋本 滉(郡山七)	
	2 学年	柳沼 奏汰(郡山三)	
	1 学年	青砥倫太郎(郡山三)	
相 撲 (2名)	3 学年	今野 優(郡山三)	
	2 学年	水戸 煌稀(須賀川一)	
	1 学年	國分 昭俊(郡山七)	
	3 学年	久能 蒼輔(大 玉)	
	2 学年	中村 心咲(郡山一)	
	1 学年	八巻 悠隼(中村一)	
	3 学年	大宮 怜王(茂庭台)	
	2 学年	佐久間 倫(石 神)	
	1 学年	高橋 健心(南中山)	
	3 学年	原田 奏仁(若松一)	
	2 学年	佐藤 光汰朗(坂下)	
	1 学年	江川 大雅(若松一)	

令和 8 年度 後援会・桜薔会本部役員（敬称略）

令和 8 年度後援会・桜薔会本部役員			
名誉会長(校長)	佐々木 稔		
会 長	六角 陽佳(3 年 4 組)		
副 会 長	吉田 陽一(3 年 5 組)	渡邊 輝長(2 年 12 組)	
	菅野 陽平(1 年 4 組)	芥川 敦	
席 務	菅井 正一		
会 計	石井 隆士(2 年 8 組)	村上進之介	
監 事	岸田 倫明(3 年 11 組)	菅野 貴(1 年 10 組)	
	早田 宗弘		
桜薔会幹事長	川野 貴光		

3 学年			
委 員 長	薄井 長広(3 年 5 組)		
副 委 員 長	國分由美子(3 年 8 組)	平栗 幸樹(3 年 11 組)	
	濱津 恵子(3 年 11 組)		
岡部久美子(1 組)	相樂 文子(2 組)	佐々木絵美(3 組)	
伊澤智佳子(4 組)	薄井 長広(5 組)	中野いずみ(6 組)	
飯村恵美理(7 組)	國分由美子(8 組)	渡邊 裕和(9 組)	
津田 美穂(10 組)	濱津 恵子(11 組)	平栗 幸樹(11 組)	

2 学年			
委 員 長	藤田 浩志(2 年 10 組)		
副 委 員 長	石井 亜耶(2 年 6 組)	菅野 知子(2 年 6 組)	
	大石 紀子(2 年 7 組)		
鈴木 雅之(1 組)	橋本 忠夫(2 組)	龍 道子(2 組)	
石山 千夏(3 組)	野崎 美紀(3 組)	内山 久美(4 組)	
鈴木 里恵(5 組)	石井 亜耶(6 組)	菅野 智子(6 組)	
大石 紀子(7 組)	佐藤奈都子(7 組)	角田 仁美(7 組)	
石井 隆士(8 組)	白石 裕子(8 組)	高木 英樹(9 組)	
藤田 浩志(10 組)	名和 淳子(11 組)	渡邊 輝長(12 組)	

1 学年			
委 員 長	清水 基(1 年 13 組)		
副 委 員 長	古川 真理(1 年 9 組)	丹野未由妃(1 年 10 組)	
	佐久間 崇(1 年 11 組)		
澤井 穰次(1 組)	小崎 里美(2 組)	武田 泰典(3 組)	
田村 伸也(3 組)	橋本 亜紀(4 組)	星 有佳利(5 組)	
江田 美穂(6 組)	保田 広隆(6 組)	小針恵里香(7 組)	
鈴木 浩子(8 組)	坪井 順一(8 組)	三部 潔(9 組)	
古川 治(9 組)	伊藤 俊司(10 組)	菅野 貴(10 組)	
丹野未由妃(10 組)	佐久間 崇(11 組)	菅野 沙苗(12 組)	
清水 基(13 組)			

4/7火

第76回入学式



第76回入学式が工学部大講堂で挙行された。佐々木稔校長より入学が許可された510名（入学許可代表：厚井愛羽さん・郡山七中出身）が本校での高校生活をスタートさせた。

校長式辞に続き根本修克工学部長が日本大学学長祝辞を述べ、大場俊之同窓会会長、伊野竜司後援会会長より祝辞を賜った。そして新入生を代表して堀一翔さん（下郷中出身）が宣誓を行い、在校生を代表して生徒会長の箱崎大嘉さん（須賀川三中出身）が歓迎のことばを述べました。

入学式のあとは各教室でHRが行われ、新しい担任やクラスメイトと顔を合わせた。

4/8水

対面式・着任式・始業式

本校記念体育館にて令和8年度対面式・着任式・始業式が行われた。2019年10月以来、約6年半ぶりに全校生徒が記念体育館に一堂に会した。対面式では新入生代表 塩野谷輝樹さん（勿来一中出身）が高校生活の抱負を述べ、生徒会長 箱崎大嘉さん（須賀川三中出身）と挨拶を交わした。着任式では今年度着任された13名の先生方より挨拶があった。続いて一学期始業式が行われ、最後に『警察署員による講話』として郡山警察署の警察官から、高校生活を送るにあたっての注意事項、特に交通安全についてご指導をいただいた。



4/7火

第76回入学式新入生代表宣誓



朗らかな春の光に包まれ、厳しい冬を乗り越えた桜の木々たちも蕾をほころばせ、鮮やかな花を咲かせ始めた、今日のこの佳き日に、私たち510名は、「自主創造」の気風あふれる、伝統ある日本大学東北高等学校に入学いたします。

本日は、このような盛大な入学式を挙行していただき、本当にありがとうございます。新入生一同、本校への入学を、心より誇り高く思い、感謝の気持ちでいっぱいです。

今日、この時から、自分の夢の実現に向けた、私たちの挑戦が始まります。これから私たちが進む道には、新しい友との「出会い」をはじめ、先輩方や先生方との多くの「出会い」があります。私はこれまでの経験から、「出会い」とは、自分を成長させるための必然であり、必要不可欠な糧であると考えています。今日からの「出会い」を大切に、謙虚な姿勢を忘れずに、互いに認め合い、刺激し合い、日々切磋琢磨し、共に成長していくことが、それぞれの夢の実現につながると信じ、「真剣力行」の精神のもと、一步一步歩みを進めていく決意です。

3年間という限られた高校生活を、決して無駄にしないために、私は、さまざまなことに積極的に挑戦し、多くの経験を通して、豊かな学びを得ていきたいと考えています。しかし、常に順風満帆とは限らず、無風状態と思うように進まなかったり、逆風が吹いて道に迷う時もあると思います。そんな時にも、自分を見失うことなく、新たな出会いで得た仲間たちとともに、互いに「忠恕の心」をもって支え合い、前へ前へ進んでいきたいと思っています。

また、私は、ここ日本大学東北高等学校において、大学進学へ向けて勉学に励むことはもちろん、伝統ある野球部の一員として、「球道即人道」の精神のもと、日々の練習に励み、自分を磨き、さらなる高みを目指すことを誓います。

そして、決して忘れてはならないことは、私たちが、この恵まれた教育環境のもとで、自分の夢を追うことができるのは、これまで同様に、私たちを応援してくれる「家族の支え」があるということです。その感謝の気持ちを、これからの「成長」という形で、表していきたいと思っています。

結びに、私たち新入生は、日本大学東北高等学校の生徒であるという自覚と誇りをもち、校訓である「自主創造」「真剣力行」「忠恕の心」を常に胸に刻み、うつむき立ち止まることがあっても、必ずまた上を向いて、一意専心、力強く飛び立つことを誓い、ここに新入生代表の宣誓といたします。

令和8年4月7日

新入生代表 堀 一翔（下郷町立下郷中学校出身）

4/17(金)

12年ぶりの遠足

1年生を対象に、12年ぶりに那須ハイランドパークでの遠足を実施した。当日は、天候にも恵まれ、生徒たちは思い思いに楽しんだ。また、フォトコンテストも開催され、各グループで笑顔あふれる写真が集まった。入学したばかりの生徒たちにとっては、緊張も少しほぐれ、クラスの仲間との交流を深める貴重な機会となった。



4/24(金)

スマホ安全教室

スマホの学校のeキャラバン認定講師の諏江正義氏を講師にお招きし、全校生徒を対象にスマホ安全教室が実施された。諏江先生の講演では、スマートフォンを中心に発生するいじめ、架空請求や著作権や肖像権の侵害、SNSトラブルなどの実例が紹介され、生徒たちは真剣に講演を聞いていた。



4/27(月)・4/28(火)

7年ぶりの校歌・応援歌練習

2日間にわたり、記念体育館にて校歌・応援歌練習を実施した。全学年が一堂に会して練習を行うのは、令和元年以来7年ぶりとなった。1日目は、校歌・学生歌・応援歌の練習を行い、全校生徒が力強い歌声で、体育館いっぱいに本校の伝統ある歌を響かせた。2日目はメガホンを手に全校応援の練習を行い、応援の動きや掛け声を確認しながら、全校生徒が息を合わせて取り組み、記念体育館は熱気と活気に包まれた。



5/11(月)

自転車安全教室

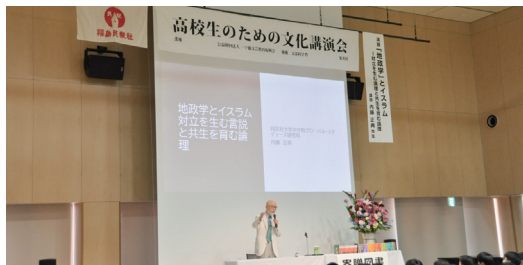
郡山警察署交通一課の緑川大介氏を講師として、全校生徒を対象に「自転車安全教室」が実施された。講演では令和8年4月より施行された自転車の青切符制度や危険運転に関する説明があった。生徒たちは自転車ルールについて理解を深めるとともに、事故発生リスクが身近にあることを真剣な表情で感じ取っていた。



6/1(月)

高校生のための文化講演会

IIコースの生徒を対象に、公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会と福島民報社が主催する「高校生のための文化講演会」が実施された。講師として、一橋大学名誉教授の内藤正典先生をお招きし、「地政学とイスラム 対立を生む理論と共生を育む理論」という題で講演をいただいた。講演後には質疑応答では、多くの質問が飛び交い、学問を自分の生活に役立てようとする姿勢が身に付いた。



6/11(木)

第1回校内献血

今回は2・3年生のみを対象に実施し、104名の生徒が参加した。10月に第2回校内献血が予定されている。校訓でもある「恕忍の心」のもと、献血の重要性を伝えて、更に多くの参加者を募っていきたい。



6/9

校内球技大会

校内球技大会が行われ、ソフトボール(3年男子)、バレーボール(3年女子・1年女子)、サッカー(2年男子)、バスケットボール(2年女子)、ドッジボール(1年男子)、長縄(全学年)で競い合った。仲間と互いに声を掛け合い、勝敗に関係なく笑顔あふれる場面が多く見られた。クラスの団結が深まる、充実した一日となった。



1年生

男子
ドッジボール

1位	1組B
2位	1組A
3位	4組
4位	11組

2年生

男子
サッカー

1位	6組
2位	7組
3位	8組
3位	4組

3年生

男子
ソフトボール

1位	2組
2位	1組
3位	7組
3位	5組

全学年共通長縄

1年生

1位	4組
1位	9組
3位	3組

2年生

1位	8組
2位	3組
3位	9組

3年生

1位	11組
2位	7組
3位	9組

女子
9人制バレーボール

Aリーグ 1位	12組
Bリーグ 1位	9組
Cリーグ 1位	6組
Dリーグ 1位	10組

女子
バスケットボール

Aリーグ 1位	12組
Bリーグ 1位	7組
Cリーグ 1位	1組
Dリーグ 1位	10組

女子
6人制バレーボール

1位	9組
2位	11組
3位	3組
3位	6組

6/1月～20

教育実習

3週間にわたり20名の教育実習が行われた。現場でしか得られない経験を通し、実習生一人一人が大きく成長した。大学の様子を聞いたり、ホームルームでコミュニケーションをとったりと、生徒たちにとっても実りある期間となった。20名の実習生の皆さんの今後の活躍を期待している。



未来の教室へ架ける橋

～日本大学東北高校での教育実習を終えて～

井堀貴太 新潟大学・理学部・生物学プログラム



「教師は料理人。教材とは食材であり、それをどのように調理し、振る舞うか。」という校長先生の言葉を胸に、大学での専門研究を活かした「生物学の面白さ」に挑戦した3週間は、生徒との探究と温かい感動に満ちた時間となりました。実物を用いた教材提示や生徒と一緒に取り組んだ小実験、「アルコール発酵」の実験を行った研究授業など、五感を刺激する工夫を取り入れた授業では、生徒の皆さんから「おもしろい!」という笑顔が生まれる瞬間に、教師としての最大の喜びを学びました。また、校内球技大会で生徒と応援を共にしたり、私自身も教職員チームでサッカーに出場したりと、一緒になって勝利や敗北の悔しさを共有したことは、教室の中に温かい安心感と信頼関係を築きたい思い出となりました。およそ40人にもなる大きな学級現場の中での時間管理やICTを活用した教材研究の難しさに悔しい思いもしましたが、真摯に支えてくださった先生方の姿や、温かく私の挑戦を受け止めてくれた生徒たちの存在が、私を常に前へと突き動かしてくれました。「教育は人なり」。この本質を忘れず、日本大学東北高等学校でいただいたすべての出会いと感動を最大の原動力に変えて、これからも理想の教員への道を力強く歩んでまいります。本当にありがとうございました。

教育実習を通じて

三瓶祐紀 日本大学文理学部教育学科



3週間の教育実習を通じて、私は授業を行う難しさを実感しましたが、それ以上に生徒のみなさんが理解・成長していく過程を見れる喜びや嬉しさを感じました。自身の指導教科(保健体育)では、全学年で別々の内容の授業を担当する機会をいただきました。クラスの雰囲気や、指導する内容の特徴に合わせて授業を展開していく難しさを実感しました。気持ちが落ち込みそうになる場面もありましたが、指導担当の先生方や実習生の仲間たち、生徒の皆さん、教育実習にあたって関わってくださったすべての方々の支えのおかげで、多くのことを学び、成長できたと思っています。自分一人では決して乗り越えられなかった3週間です。大好きな日大東北高校に教員という立場で戻り、貴重な経験を得ることができた教育実習は、私にとって何物にも代えがたい大きな財産となりました。今回の教育実習で得たものを踏まえ、生徒一人一人に寄り添える教員を目指してこれからも精進いたします。短い間ではありましたが、本当にありがとうございました。

6/27

教育講演会

お笑い芸人でありながら講演家としても活躍しているヤセ騎士(ヤセナイト)氏をお迎えし、保護者を対象に教育講演会が行われた。「しくじり先生～人生のどん底を味わったからこそ気づいたお金より大切なもの～」という演題で、時折、ユーモアを交えながら、自身の半生から得た教訓を話して頂いた。



学年だより

1 学年

1 学年会より

1 学年主任 秋山浩樹



本校に入学して約3か月が経ち、生徒たちは日々の学校生活を通して着実に成長しています。高校3年間の目的は、学力を伸ばすことだけではありません。苦手を克服し、学習や部活動、友人との日常を楽しみながら、自らの可能性を広げ、将来の進路を主体的に切り拓く力を育むことも大切な目標です。

入学以来、本校では学習方法をはじめ、スマートフォンとの付き合い方、自転車の安全利用、制服の着こなしなど、社会で自立して生きるために必要なガイダンスや行事を計画的に実施

してきました。また、さまざまな地域から集まった仲間との学校生活を通して、多様な価値観に触れ、人を思いやる心や判断力、幅広い教養を育んでいます。

毎日の授業や探究活動、部活動、学校行事、友人との関わりなど、日常のあらゆる場面に成長の種があります。同じように見える毎日を3年間積み重ねることで、大きな成長へとつながります。こうした日々の学びや経験の蓄積は、2学期から本格化する文理・科目選択においても、自分の適性や将来を考え、主体的に進路を選択する力となるはずです。

本校のある年度の卒業生では、約72%が卒業と同時に地元を離れ、一人暮らしを始めました。この傾向は毎年見られ、高校3年間は自立への準備期間でもあります。一日一日の学校生活を大切に積み重ねながら、生徒一人ひとりが自分らしい未来を切り拓いていけるよう、学校全体で教育活動を推進してまいります。

2 学年

生徒の活躍

2 学年主任 川野貴光



2年7組の金澄春くん（郡山第二中学校出身）が Odessey 主催の MOS 世界学生大会 2026 の Word 部門で入賞しました。以下の文章は、金くんからいただきました。

私はこのたび、MOS 世界学生大会 2026 の Word 部門で入賞しました。MOS 世界学生大会は、Microsoft Office の活用技術を競う国際大会で、日本大会には延べ12,000人以上が参加します。今年の世界大会はアメリカ・カリフォルニア州アナハイムで開催され、40か国以上の国から集まった代表選手たちが世界一を目指して競い合います。私は Word 部門で1000点満点を取得し、さらに「AIには代替できない私の強み」をテー

マとした論文にも取り組みました。大会に向けては、Wordだけでなく Excel や PowerPoint の学習も継続し、正確で効率的な操作を目指して努力を重ねました。入賞の知らせを受けた時は大きな喜びと達成感を感じました。入賞者の多くが大学生である中、高校生として入賞できたことは大きな自信になりました。今回の経験を通して、結果だけでなく目標に向かって努力する過程にも大きな価値があることを学びました。AIが発展する時代だからこそ、自分にしかできないことを考えながら、これからも挑戦を続け、成長していきたいと思っています。



3 学年

挑み続けた3年間、 ここから始まる正念場

3 学年主任 田崎智春



保護者の皆様におかれましては、これまでの温かいご支援に心より感謝申し上げます。

この1学期、特に部活動に所属している生徒たちは、勉強と部活の両立に悩み、大会の結果に一喜一憂しながらも、目の前に全力で向き合ってきました。4月の基礎学力到達度テストを終え、残すは9月のテストのみとなります。Ⅱコースは一般選抜等の本番を見据えることとなりますが、いずれにせよ残された時間は決して多くありません。部活動に区切りをつけ

た生徒も、上位大会へ挑み続ける生徒も、ここからが正念場です。

2学期からの本格的な受験モードを前に、この夏は将来を左右する大切な時期となります。受験も部活動と同じです。目標に向かって心を込めて努力する日々こそが、生徒たちを大きく成長させます。結果としての合格も大切ですが、必死に壁を乗り越えようとした経験の先にしか、本当の喜びや悔しさは生まれません。

限られた時間の中で結果を出すために、この夏は「あれこれ手を広げず、徹底して基礎の穴を埋めること」、そして「本番から逆算して生活リズムを崩さないこと」を意識してほしいと思います。

さらに、その先にある希望進路というステージを見据え、「自分のことは自分で決めて動く自立心」を育てていくことも欠かせません。自分の将来のために自ら机に向かう主体性こそが、入学後の学びを豊かにし、今後の人生の確かな礎になります。教職員も心を込めて伴走いたしますので、引き続き温かいサポートをお願い申し上げます。

基礎学力到達度テスト

4月15日(水)、16日(木)に、令和8年度基礎学力到達度テスト(4月)を実施しました。

■基礎学力到達度テストとは

基礎学力到達度テストは、基礎・基本の定着度を確認する試験です。全国の日本大学付属校・準付属校の生徒が同日に受験する統一試験であり、日本大学への進学を希望する生徒にとって重要な試験となっています。

また、他の私立大学や国公立大学への進学を希望する生徒にとっても、基礎学力の定着度を測るうえで有効な指標となります。全国の付属校26校(各学年約1万人が受験)の生徒との比較ができるため、現在の学力や位置を客観的に把握することができます。

■基礎学力到達度テストと付属推薦制度

日本大学への付属推薦制度「基礎学力選抜方式」では、この試験の結果が活用されます。高校2年次4月、高校3年次4月、高校3年次9月の計3回の成績をもとに総合評価が行われ、生徒は希望する学部・学科への出願資格を得ます。

基礎学力到達度テスト

実施時期	教科数	教科	付属推薦 基礎学力選抜方式 への利用割合
1年生 4月	3教科	国語、数学、英語	利用せず
2年生 4月	3教科	国語、数学、英語	20%
3年生 4月	3教科	国語、数学、英語	20%
3年生 9月	4教科	国語、数学、英語、 地歴公民もしくは理科	国語・数学・英語は 60% 地歴公民・理科は 100%

教務部主任 和泉 賢一



■定期試験・スタディーサポートを活用した基礎学力の定着

1・2年生は、来年4月の基礎学力到達度テストに向けて、さらなる基礎学力の定着・向上が大切になります。基礎学力を身に付けるうえで、定期試験(年5回実施)とスタディーサポート(年2回実施)が重要な役割を果たします。

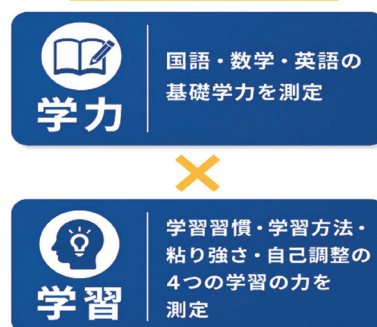
定期試験、スタディーサポートを活用しながら学習習慣を確立し、定期的に理解度を確認していくことが大切です。特にスタディーサポートは、基礎学力到達度テストとの相関が高く、生徒が自身の学習状況を把握するために有効な指標となります。1コース1、2年生は、9月に実施されるスタディーサポートを目標に、学習習慣を構築し、この夏の学習を進めましょう。

今後のスタディーサポート実施予定

I コース1、2年生	9月2日(水)	3月18日(木)
II コース1、2年生	7月31日(金)	3月18日(木)

スタディーサポート

多角的なデータ取得



■おわりに

基礎学力到達度テストは、学力向上と進路実現を支える重要な試験です。本校としても、生徒一人ひとりが目標を持ち、希望する進路を実現できるよう、引き続き学習指導と進路支援に努めてまいります。

基礎学力の構築に向けて



教務部だより

国公立大合格 27 名（現役合格率 47%）

福島県立医科大学医学部医学科に合格（既卒生）

Ⅱコース主任 有馬 理恵



2026 年度入試のⅡコースの大学合格状況をお知らせ致します。国公立大学には現役生 27 名と既卒生 2 名の計 29 名、また短期大学まで合わせると計 30 名が合格しました。また、青山学院大学、中央大学などの難関私立大学にも合格しました。

73 期生の大学受験は現役生の 46.6% (27 名) が国公立大学 (4 年制) に合格。4 年連続で 40% を超えることができました。また、既卒生ではありますが、3 名が医学部医学科に合格し、そのうちの 1 名は福島県立医科大学に合格しました。(他 2 名は私立大学)

そして 74 期生（現 3 年生）が受験する 2027 年度入試は、新課程に移行して 3 年目の入試となります。昨年度から始まった、オンラインによる大学入学共通テストの手続きが今年度も実施されます。郵送ではなく、出願サイト上で行う形式です。また、各大学の理工学系を中心に女子枠の設定が進んでいます。英検の取得級やスコアの取得点に応じた受験の優遇措置を取る大学も増えています。私立大学だけでなく、国公立大学も学校推薦型や総合型選抜といった早期受験を多くの大学が取り入れています。

Ⅱコースでは、各大学の情報を確認、共有し、面談を通して生徒の皆さん一人一人に合った受験へのチャレンジを後押しします。74 期生のみなさんが後悔することなく、合格という二文字で大学受験を締め括れるよう、学習面・精神面の両面において全力でサポートしていきます。

【国公立大学合格者数】※大学校・短期大学含む

●北海道教育大学 2	●弘前大学 1	●秋田大学 2
●岩手大学 1	●宮城大学 3	
●宮城教育大学 1	●山形大学 2	●福島大学 3
●宇都宮大学 1	●茨城大学 1	
●埼玉大学 1 (1)	●金沢大学 1	●香川大学 1
●秋田県立大学 1	●山形県立米沢栄養大学 1	
●岩手県立大学 1	●福島県立医科大学 3 (1)	
●会津大学 1	●長岡造形大学 1	
●前橋工科大学 1	●山形県立米沢短期大学 1	

() 内 既卒生

生活指導部だより

日頃より、本校の教育方針にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

最近の生徒の学校生活や日常生活の中で、特に気になる点についてお知らせいたします。

【登下校時の交通安全について】

本校では、今年度の 1 年生より、自宅から自転車で通学する生徒について、自転車事故の未然防止と交通安全意識の向上を目的として、ヘルメットの着用を原則としております。現在、多くの生徒がそのルールを守っており、2・3 年生においてもヘルメットの着用率が向上するなど、安全意識の高まりが見られます。その成果もあり、今年度の交通事故発生件数は例年と比較して減少傾向にあり、一定の成果が見られています。

また、今年 4 月から自転車の交通違反に対する「交通反則制度」が導入されました。本校生の中にも、すでに交通違反により青切符の交付を受けた生徒がおります。特に、一時停止無視、右側通行、夜間の無灯火運転など、重大な事故につながるおそれのある違反が見受けられます。

交通ルールを守ることは、自分自身の命を守るだけでなく、周囲の人の安全を守ることに繋がります。ご家庭におかれましても、交通ルールの遵守や自転車の安全な利用について改めてご確認いただくとともに、時間に余裕をもって登下校できるよう、規則正しい生活習慣の確立について、引き続きご指導いただきますようお願いいたします。

【SNS 等を介したトラブルの防止について】

今年 5 月には、高校生が関係する強盗殺人事件が発生しました。近年、いわゆる「闇バイト」に関連した若者による凶悪事件が全国的に発生しており、大きな社会問題となっています。

こうした状況を踏まえ、SNS やオンラインゲーム等を通じて知り合った相手との交流をきっかけに、犯罪に巻き込まれる危険性について正しく理解させるとともに、そのような問題を

生活指導部主任 石川 高遠



回避するための判断力や対処能力を身に付けさせる必要があると考えております。

また、軽い気持ちで行った投稿ややり取りであっても、その内容や状況によっては、被害者になるだけでなく、知らないうちに加害者になってしまう可能性もあります。そのことを、生徒一人ひとりにしっかりと理解させていきたいと考えております。

SNS 等を介したトラブルについては、未然防止と早期対応が何よりも重要です。ご家庭におかれましても、日頃よりお子様とのコミュニケーションを大切にいただき、困ったことや不安なことがあった際には、すぐに保護者や学校に相談できる環境づくりをお願いいたします。

【制服の着こなし・身だしなみについて】

本校では毎年、校則や制服に関する規定の見直しを行っております。今年度は、近年の厳しい暑さへの対策として、生徒がより快適に学校生活を送ることができるよう、夏季制服として半袖ポロシャツを導入いたしました。すでに購入を申し込まれている方につきましては、7 月中旬頃の納品を予定しております。

また、制服の着こなしや身だしなみは、その人自身や学校全体の印象を形づくるとともに、周囲からの信頼にも関わる大切なものです。最近では、制服の着崩しやスカート丈などについて、指導が必要な場面も見受けられます。生徒一人ひとりが学校生活にふさわしい服装やマナーを身に付けることができるよう、学校でも継続して指導してまいります。

ご家庭におかれましても、登校前の身だしなみの確認や制服の適切な着用についてお声がけいただき、お子様が望ましい規範意識や社会性を身に付けられるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

クラブ活動記録

県大会

第72回福島県高等学校体育大会陸上競技

陸上競技部《5/22～5/25：とうほう・みんなのスタジアム》

男子400m	優勝	加藤 幹太	(富田)
	第3位	角田 翔	(石川)
男子110mH	第3位	古川 稜	(富田)
男子400mH	第2位	柿崎辰太郎	(福島三)
男子4×100mR	優勝	丹治 生真	(渡利)
	優勝	大内 裕翔	(船引)
	優勝	相楽潤乃介	(石川)
	優勝	茂木 優樹	(松陵)
	優勝	加藤 幹太	(富田)
	優勝	角田 翔	(石川)
	優勝	氏家 威吹	(船引)
	優勝	齋藤 唯人	(郡山七)
男子砲丸投げ	第3位	千葉 陽希	(郡山四)
男子円盤投げ	第3位	千葉 陽希	(郡山四)
男子8種競技	優勝	松崎 嘉允	(富田)
	第2位	紺野 誠也	(行健)
	第3位	安田 龍喜	(郡山七)
女子400m	第2位	酒井 瞳	(磐崎)
女子3000m	第2位	服部 奈夢	(福島三)
女子100mH	優勝	伊藤 綾那	(宮城)
女子400mH	第3位	渡邊 日向	(船引)
女子4×400mR	第2位	酒井 瞳	(磐崎)
	第2位	渡邊 日向	(船引)
	第2位	佐藤 悠希	(小原田)
	第2位	石川 倖羽	(白河中央)
女子走高跳	第2位	高柴 日和	(須賀川一)
女子走幅跳	優勝	小林 夢	(本宮二)
女子三段跳	優勝	佐藤 真帆	(福島三)
女子砲丸投げ	優勝	菫浦 心陽	(西袋)
女子円盤投げ	第3位	菫浦 心陽	(西袋)
女子7種競技	優勝	小沼 沙彩	(須賀川二)

第72回福島県高等学校体育大会相撲競技

相撲部《5/30：郡山市相撲場》

無差別級	第3位	佐藤光汰朗	(坂下)
100kg 以上級	優勝	江川 大雅	(若松一)
80kg 未満級	優勝	佐藤光汰朗	(坂下)

第72回福島県高等学校体育大会ライフル射撃競技

ライフル射撃部《5/31：二本松総合射撃場》

AR60J	優勝	國分 佑晟	(郡山五)
AR60WJ	優勝	齋藤 菜穂	(郡山三)
AP60J	優勝	鈴木 陽多	(郡山三)
BR60J	優勝	國分 佑晟	(郡山五)
	第2位	巴 翔	(白沢)
	第3位	有我 海杜	(安積)
BR60WJ	優勝	会田まひろ	(安積)
	第2位	齋藤 菜穂	(郡山三)
	第3位	古川 天	(行健)
BP60J	優勝	鈴木 陽多	(郡山三)
BP60WJ	優勝	抜木 優羽	(行健)
	第2位	田口 美羽	(富田)
	第3位	厚美 花音	(安積)

第43回福島県春季ジュニアダブルステニス選手権大会

硬式テニス部《4/25：あづま総合運動公園》

U18 男子ダブルス	第3位	吉原 大貴	(緑ヶ丘)
		菅野 拳慎	(須賀川二)
	第3位	齋藤 秀成	(郡山六)
		畑中 佑月	(郡山六)
U18 女子ダブルス	第3位	柏村 綾世	(矢吹)
U16 男子ダブルス	優勝	井上 凛人	(郡山五)

第72回福島県高等学校体育大会テニス競技

硬式テニス部《5/29～5/31：郡山庭球場 城山庭球場》

男子団体戦	第3位	吉原 大貴	(緑ヶ丘)
		齋藤 秀成	(郡山六)
		菅野 拳慎	(須賀川二)
		井上 凛人	(郡山五)
		森 海翔	(郡山六)
男子ダブルス	第3位	吉原 大貴	(緑ヶ丘)
		菅野 拳慎	(須賀川二)

第72回福島県高等学校体育大会水泳競技大会

水泳部《5/22～5/25：とうほう・みんなのスタジアム》

男子学校対抗	優勝	國分 昭俊	(郡山七)
男子200m自由形	優勝	國分 昭俊	(郡山七)
男子400m自由形	優勝	熊田 桐大	(中央台北)
	第3位	渡邊 政	(仁井田)
男子100m背泳ぎ	第3位	松浦 瑞久	(郡山一)
男子100mバタフライ	第2位	久能 蒼輔	(大玉)
	第3位	松浦 瑞久	(郡山一)
男子200mバタフライ	第2位	許田 涼斗	(郡山一)
	第3位	水戸 煌稀	(須賀川一)
男子200m個人メドレー	優勝	水戸 煌稀	(須賀川一)
男子400m個人メドレー	優勝	久能 蒼輔	(大玉)
男子4×100mリレー	優勝	國分 昭俊	(郡山七)
		松浦 瑞久	(郡山一)
		水戸 煌稀	(須賀川一)
		國分 昭俊	(郡山七)
		久能 蒼輔	(大玉)
男子4×200mリレー	優勝	水戸 煌稀	(須賀川一)
		久能 蒼輔	(大玉)
		水戸 煌稀	(須賀川一)
		松浦 瑞久	(郡山一)
		國分 昭俊	(郡山七)
女子学校対抗	優勝	宗像 柚樹	(郡山五)
女子400m自由形	第3位	中村 心咲	(郡山一)
女子100m平泳ぎ	第2位	澤井 咲奈	(郡山一)
	第3位	中村 心咲	(郡山一)
女子200m平泳ぎ	第2位	澤井 咲奈	(郡山一)
	第3位	澤井 咲奈	(郡山一)
女子100mバタフライ	第2位	一條 莉杏	(郡山五)
女子200mバタフライ	優勝	一條 莉杏	(郡山五)
女子200m個人メドレー	第2位	佐々木爽衣	(郡山四)
女子400m個人メドレー	第2位	佐々木爽衣	(郡山四)
女子4×100mリレー	優勝	一條 莉杏	(郡山五)
		澤井 咲奈	(郡山一)
		宗像 柚樹	(郡山五)
		中村 心咲	(郡山一)
女子4×200mリレー	優勝	一條 莉杏	(郡山五)
		澤井 咲奈	(郡山一)
		宗像 柚樹	(郡山五)
		中村 心咲	(郡山一)
女子4×100mメドレーリレー	第2位	石黒 葉音	(塙)
		澤井 咲奈	(郡山一)
		一條 莉杏	(郡山五)
		中村 心咲	(郡山一)

第79回福島県総合スポーツ大会体操競技

体操部《5/29～5/31：宝来屋ボンスアリーナ》

跳馬	第2位	栗山日加里	(郡山五)
平均台	第2位	栗山日加里	(郡山五)

東北大会

第81回東北高等学校陸上競技大会

陸上競技部《6/12～6/15：キューアンドエースタジアム宮城》

男子4×400mR	第3位	齋藤 唯人	(郡山七)
		氏家 威吹	(船引)
		加藤 幹太	(富田)
		角田 翔	(石川)
男子400mH	第7位	二瓶 絢亘	(白河二)
男子8種競技	第4位	紺野 誠也	(行健)
	優勝	松崎 嘉允	(富田)
男子三段跳	第8位	添田 楓	(富田)
男子砲丸投げ	第8位	千葉 陽希	(郡山四)
男子円盤投げ	第6位	千葉 陽希	(郡山四)
女子4×400mR	第6位	石川 倖羽	(白河中央)
		佐藤 悠希	(小原田)
		酒井 瞳	(磐崎)
		渡邊 日向	(船引)
女子100mH	第2位	伊藤 綾那	(宮城)
女子400m	第8位	酒井 瞳	(磐崎)
女子走幅跳	第2位	小林 夢	(本宮二)
	第8位	佐藤 真帆	(福島三)
女子三段跳	第5位	佐藤 真帆	(福島三)
女子走高跳	第6位	高柴 日和	(須賀川一)
	第8位	小沼 沙彩	(須賀川二)
女子7種競技	第4位	小沼 沙彩	(須賀川二)
女子砲丸投げ	第4位	菫浦 心陽	(西袋)
	第8位	河原くるみ	(大玉)
女子円盤投げ	第4位	菫浦 心陽	(西袋)
	第8位	河原くるみ	(大玉)

第 77 回東北高等学校相撲選手権大会

相撲部《6/27～6/28：十和田市相撲場》
無差別級 第2位 佐藤光汰朗 (坂下)
80kg 未満級 優勝 佐藤光汰朗 (坂下)

第 74 回東北高等学校選手権水泳競技大会

水泳部《7/16～7/19：宮城県総合運動公園》

男子 50 m自由形 大橋朔汰朗 (西郷一)
男子 100 m自由形 大橋朔汰朗 (西郷一)
男子 200 m自由形 國分 昭俊 (郡山七)
熊田 桐大 (中央台北)
男子 400 m自由形 國分 昭俊 (郡山七)
熊田 桐大 (中央台北)
矢吹 聖賢 (郡山三)
男子 1500 m自由形 小林 海斗 (大東)
矢吹 聖賢 (郡山三)
男子 100 m背泳ぎ 渡邊 政 (仁井田)
富永 悠翔 (泉崎)
男子 200 m背泳ぎ 渡邊 政 (仁井田)
富永 悠翔 (泉崎)
落合 太陽 (塙)
男子 100 m平泳ぎ 吉田 陽斗 (白河中央)
男子 200 m平泳ぎ 吉田 陽斗 (白河中央)
男子 100 mバタフライ 松浦 璃久 (郡山一)
久能 蒼輔 (大玉)
許田 涼斗 (郡山一)
松浦 璃久 (郡山一)
久能 蒼輔 (大玉)
許田 涼斗 (郡山一)
男子 200 m個人メドレー 水戸 煌稀 (須賀川一)
鈴木 陵也 (安積二)
和田 尚也 (白河二)
男子 400 m個人メドレー 水戸 煌稀 (須賀川一)
和田 尚也 (白河二)
新井 柔斗 (富田)
男子 4 × 100 mリレー 久能 蒼輔 (大玉)
國分 昭俊 (郡山七)
松浦 璃久 (郡山一)
水戸 煌稀 (須賀川一)
松浦 璃久 (郡山一)
國分 昭俊 (郡山七)
久能 蒼輔 (大玉)
水戸 煌稀 (須賀川一)
久能 蒼輔 (大玉)
水戸 煌稀 (須賀川一)
松浦 璃久 (郡山一)
國分 昭俊 (郡山七)
宗像 柚樹 (郡山五)
女子 400 m自由形 大竹 絢美 (緑ヶ丘)
女子 800 m自由形 宗像 柚樹 (郡山五)
大竹 絢美 (緑ヶ丘)
女子 100 m背泳ぎ 石黒 葉音 (塙)
角田 心菜 (郡山三)
女子 200 m背泳ぎ 石黒 葉音 (塙)
角田 心菜 (郡山三)
中村 心咲 (郡山一)
澤井 咲奈 (郡山一)
鈴木 眞寧 (須賀川一)
女子 100 m平泳ぎ 中村 心咲 (郡山一)
澤井 咲奈 (郡山一)
鈴木 眞寧 (須賀川一)
女子 200 m平泳ぎ 中村 心咲 (郡山一)
澤井 咲奈 (郡山一)
鈴木 眞寧 (須賀川一)
女子 100 mバタフライ 一條 莉杏 (郡山五)
女子 200 mバタフライ 一條 莉杏 (郡山五)
女子 200 m個人メドレー 佐々木爽衣 (郡山四)
女子 400 m個人メドレー 佐々木爽衣 (郡山四)
女子 4 × 100 mリレー 一條 莉杏 (郡山五)
澤井 咲奈 (郡山一)
宗像 柚樹 (郡山五)
中村 心咲 (郡山一)
一條 莉杏 (郡山五)
澤井 咲奈 (郡山一)
宗像 柚樹 (郡山五)
中村 心咲 (郡山一)
石黒 葉音 (塙)
澤井 咲奈 (郡山一)
一條 莉杏 (郡山五)
中村 心咲 (郡山一)

全国大会

第 19 回音楽アンサンブルコンテスト全国大会

合唱部《3/19～3/22：ふくしん夢の音楽堂》
金 賞

令和 8 年度全国高等学校総合体育大会体操競技大会

体操部《7/31～8/2：グリーンアリーナ神戸》
女子個人 栗山日加里 (郡山五)

第 102 回日本選手権水泳競技大会

水泳部《6/3～6/7：東京アクアティクスセンター》
男子 200 m個人メドレー 水戸 煌稀 (須賀川一)
男子 400 m個人メドレー 水戸 煌稀 (須賀川一)

2026 年度全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

ライフル射撃部《8/1～8/4：つつがライフル射撃上》

AR60WJ 齋藤 菜穂 (郡山三)
AP60J 鈴木 陽多 (郡山三)
BR60J 國分 佑晟 (郡山五)
有我 海杜 (安積)
BR60WJ 会田まひろ (安積)
古川 天 (行健)
福田 りお (郡山ザベリオ)
BP60J 鈴木 陽多 (郡山三)
BP60WJ 抜木 優羽 (行健)
田口 美羽 (富田)
厚美 花音 (安積)

令和 8 年度全国高校総体

陸上競技部《7/30～8/5：平和堂 HATO スタジアム》

男子 4 × 400mR 氏家 威吹 (船引)
加藤 幹太 (富田)
角田 翔 (石川)
柿崎辰太郎 (福島三)
二瓶 絢亘 (白河二)
齋藤 唯人 (郡山七)
松崎 嘉允 (富田)
千葉 陽希 (郡山四)
石川 倅羽 (白河中央)
佐藤 悠希 (小原田)
酒井 理愛 (緑ヶ丘)
壁谷こまち (明健)
酒井 瞳 (磐崎)
渡邊 日向 (船引)
伊藤 綾那 (宮城)
小林 夢 (本宮二)
高柴 日和 (須賀川一)
葛蒲 心陽 (西袋)
葛蒲 心陽 (西袋)

男子 8 種競技
男子円盤投げ
女子 4 × 400mR
女子 100mH
女子走幅跳
女子走高跳
女子砲丸投げ
女子円盤投げ

第 14 回国際女子相撲選抜堺大会

相撲部《4/12：堺市大浜公園相撲場》
55kg 未満級 渡部希暖子 (坂下)
無差別級 渡部希暖子 (坂下)

第 12 回全国女子相撲選抜ひめじ大会

相撲部《6/14：姫路市網干南公園相撲場》
60kg 未満級 渡部希暖子 (坂下)

第 104 回全国高等学校相撲選手権大会

相撲部《7/31～8/2：和歌山ビッグホエール》
無差別級 佐藤光汰朗 (坂下)
80kg 未満級 佐藤光汰朗 (坂下)



県大会は3位以上、開催済みの東北大会は8位以上、今後開催される東北大会・全国大会は出場者を掲載しています。
()は出身中

新任教職員紹介



【国語】
相樂 光希
さがら みつき

今年度から教員として、母校である日大東北高校に戻ってくることができて大変嬉しく思います。生徒のみなさんにとって、高校生活が充実した素敵な3年間になるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



【理科】
三輪 陽太
みわ ようた

この3月に大学院を修了しまして、4月からは東北高校で物理の授業を担当することになりました。新たな環境で皆さんとともに勉強できることを非常に楽しみにしています。一緒に充実した学校生活を送りましょう！



【国語】
影山 雅裕
かげやま まさひろ

皆さんこんにちは。今年度新たに国語科の教員として本校に勤務することになりました。生徒諸君の貴重な高校生活が、少しでもより実り多きものになるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



【国語】
小林 健一
こばやし けんいち

この度、国語科の教員として着任しました。教員生活は長い(45年)のですが、新しい学校に赴任した時は、いつもドキドキします。皆さんの学びが充実するように全力で頑張ります。どうかよろしくお願いいたします。



【国語】
田宮 知子
たみや ともこ

数年ぶりに日大東北高校へ戻ってまいりました。また皆さんと過ごせることをうれしく思っております。生徒の皆さんの夢・希望を叶えるお手伝いができるよう努めますので、どうぞよろしくお願いいたします。



【国語】
渡部 春香
わたなべ はるか

今年度、国語科の授業を担当いたします。私自身も日大東北高校の一年生という気持ちで一人ひとりに寄り添いながら、皆さんの夢の実現に向けての手助けができれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



【地歴公民】
山本 祐樹
やまもと ゆうき

今年度から公共を担当させていただきます。授業を通して、社会の仕組みや課題について主体的に考え、自分の意見を持てる力を育てていきたいと考えております。生徒の皆さんと共に学び、成長していけるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



【数学】
阿久津 敦弘
あくつ あつひろ

今年度の数学を担当いたします。若い目線で皆さんの学びをサポートします。分からないことや疑問に思ったことは何でも質問してください！理解できるようにしましょう。よろしくお願いいたします。



【数学】
木村 ひろみ
きむら ひろみ

今年度から数学を担当させていただきます。母校である日大東北で授業をできる事に喜びを感じています。一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。



【数学】
渡邊 弘幸
わたなべ ひろゆき

久しぶりの教壇ということで、緊張と同時に期待感で胸一杯です。少しでも数学に興味を持ってもらえるように、全力で取り組んでいきますので、皆さんも本気で数学に向き合ってみてください。1年間、一緒に頑張りましょう。



【理科】
河内 和男
かわうち かずお

今年度から理科を担当します。担当する学年は1年生なので、希望に満ちあふれた新入生の、意欲とスキルを高めて、楽しんで理科を学んでいけるようにナビゲートできればとかがえております。よろしくお願いいたします。



【理科】
佐藤 さやか
さとう さやか

今年度よりよろしくおねがいします。1つ1つの出会いが素敵なものとなるよう、今の時間を大切に過ごしていきたいです。一緒に、楽しく、頑張っていきたいと思います。



【理科】
山本 光
やまもと ひかる

今年度から化学を担当させていただきます。身近には多くの化学が存在しており授業を通して化学に興味をもってもらい、日常生活の化学に気づいてもらう事を目標にしたいと思っています。よろしくお願いいたします。



【保健体育】
小豆畑 真木子
あずはた まきこ

今年度から保健体育科を担当します。生徒のみなさんの力になれるよう、頑張ります。よろしくお願いいたします。



【芸術】
島貫 ももこ
しまぬき ももこ

皆さんの自由な発想を大切に、私自身も新しい視点をたくさん学びたいと思っています。楽しみながら表現に挑戦できる授業と一緒につくっていきましょう。



【英語】
ウォレン・バルトソン・ズリー

日大東北高校で英語を教えられることをとても嬉しく思います。生徒のみなさんが成長できるようサポートしていきます。英語を楽しく学んで力を伸ばしていきます。よろしくお願いいたします。



【事務課】
菅井 正一
すがい まさいち

7月より事務課に着任いたしました。生徒の皆さんが充実した学校生活を送れるよう、学校運営を支える一員として環境づくりに努め、保護者の皆さまに安心頂けるよう、責任を持って業務に取り組んでまいります。



【事務課】
佐野 愛
さの あい

6月22日より事務課に勤務しております。日大東北高校で皆様と過ごす機会をいただき、とても嬉しく思います。よろしくお願いいたします。

異動職員



【事務課】
秦 雅
はた まさし

在職期間
令和3年7月1日～
令和8年7月12日



退職教職員紹介



【英語】
ダッチャ・ジュディス・アン

在職期間
平成15年4月1日～
令和8年5月31日



【事務課】
伊藤 成美
いとう なるみ

在職期間
令和2年6月1日～
令和8年6月30日

【編集後記】

皆様のご協力により本誌129号が発行できました。寄稿されたすべての方々に編集部一同、心より感謝申し上げます。日々の学習、部活動、学校行事に生徒たちが懸命に取り組む姿が伝われば幸いです。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力のほどお願いいたします。

日本大学東北高等学校

Nihon University Tohoku High School

〒963-1165

福島県郡山市田村町徳定字中河原1番地

TEL.024-956-8840 / FAX.024-956-8873

https://www.tohoku.hs.nihon-u.ac.jp



TOH.KOHO